

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>
神奈川県衛生研究所

第301号

平成30年1月19日発行
病原体検出は平成29年11月分

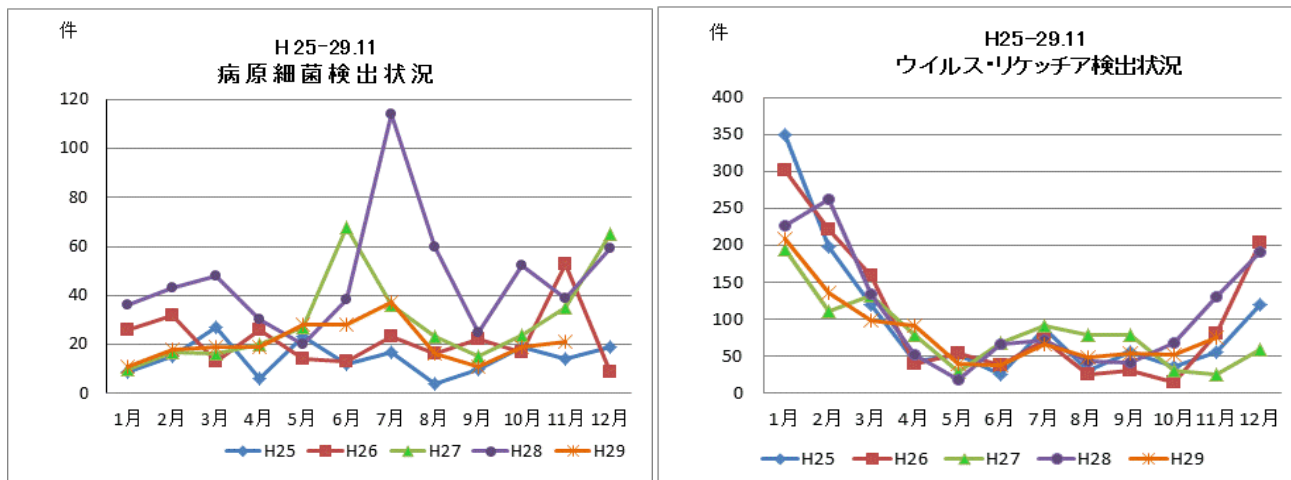
表1 病原体検出状況(保健所等別)－平成29年11月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査										病原体定點				合計			
	平塚保健福祉事務所	平塚保健福祉事務所 秦野センター	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所 三崎センター	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	茅ヶ崎市保健所	計	小児科	インフルエンザ		眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)	1										1						1
	その他の大腸菌※												1					1
	カンピロバクター ジェジュニ									1		1						1
	A群溶血レンサ球菌												18					18
	計	1								1		2	19					21
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH1 pdm09		2				3				4	9	16	5		1		31
	インフルエンザ AH3										2	2	2			1		5
	インフルエンザ B							3				3						3
	コクサッキー A10												1					1
	エンテロ 71									4	4	8	2					10
	ライノ															2		2
	ムンプス												6					6
	アデノ 1												2					2
	アデノ 2										1	1	2					3
	アデノ 3										2	2	1					3
	アデノ (型未決定)												1					1
	E B									1		1						1
	ノロ										3	3	2					5
	オリエンチア ツツガムシ		2		1								3					3
	計	2	2	1		3	3		5	16	32	35	5		4		76	
合計		3	2	1		3	3		6	16	34	54	5		4		97	

※： EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

<検出状況>

11月の病原体検出数は合計97件、細菌は21件、ウイルス・リケッチアは76件であった。



- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が19件、ウイルスが35件、インフルエンザ定点からウイルスが5件、基幹定点からウイルスが4件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)―平成 29 年 11 月

	感 染 症														食 有 症 中 苦 情 含 む 様	依 保 菌 頼 者 検 査	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	バ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検 査 検 体 数					5	22	6									2	1577	1612
腸管出血性大腸菌(EHEC)					1													1
その他の大腸菌※							1											1
カンピロバクター ジェジュニ																1		1
A群溶血レンサ球菌						18												18
計					1	18	1									1		21

※： EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

- 腸管出血性大腸菌感染症届出関連に伴う検査で、5 検体中 1 検体から腸管出血性大腸菌 O157 (VT1&VT2)が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 22 検体中 18 検体から、A 群溶血レンサ球菌が検出された。血清型は、T4 が 3 検体、T12 が 3 検体、T25 が 7 検体、T28 が 1 検体、TB3264 が 4 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 6 検体中 1 検体からその他の大腸菌 O153 が検出された。
- 食中毒様事例（有症苦情含む）では、2 検体中 1 検体からカンピロバクター ジェジュニが検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)―平成28年11月～平成29年11月

	11月	12月	平成28年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	平成29年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	14	1	51						10	18	4	2	3	1	38
毒素原性大腸菌(ETEC)			2								1				1
腸管病原性大腸菌(EPEC)			4		2					1					3
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)	1	1	2												
その他の大腸菌 ※	1	1	21						1		1		1	1	4
サルモネラ O4群			3												
サルモネラ O7群			1		1							3			4
サルモネラ O8群			3												
サルモネラ O13群			1												
腸炎ビブリオ			1												
エロモナス ハイドロフィラ			1									1			1
エロモナス ソブリア											1				1
カンピロバクター ジェジュニ	3	1	68	3		1	1	1	1	2	1	2		1	13
カンピロバクター コリ			2												
黄色ブドウ球菌		2	13				2								2
ウエルシュ菌	1	1	18									1			1
赤痢菌 (<i>S.sonnei</i>)										1			1		2
A群溶血レンサ球菌	12	7	95	5	12	17	13	19	14	11	3	2	7	18	121
エンテロコッカス フェシウム	4	39	122												
百日咳菌		1	2								1				1
淋菌			1							1	1		1		3
クラミジア トラコマティス			6	1	1	1	2	1					2		8
肺炎球菌			4												
マイコプラズマ ニューモニエ	2	2	49	1	2			6	2	3	2		2		18
レジオネラ属菌			1								1				1
レジオネラ ニューモフィラ	1	3	13	1			1	1					2		5
その他の細菌			80												
合計	39	59	564	11	18	19	19	28	28	37	16	11	19	21	227

※:その他の大腸菌 : EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌 (病原性不明なもの)

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)―平成29年11月

検査検体数	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染症							流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	その他の	食中毒(有症中)	毒物(含む)	合計
								手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性						
検査検体数		5					9	7	7			2	9	46	1	12	2			100
インフルエンザ AH1pdm09														31						31
インフルエンザ AH3														5						5
インフルエンザ B														3						3
コクサッキー A10									1											1
エンテロ 71									6								4			10
ライノ																	2			2
ムンプス												6								6
アデノ 1							2													2
アデノ 2							3													3
アデノ 3							2							1						3
アデノ(型未決定)								1												1
E B																1				1
ノロ								5												5
オリエンチア ツツガムシ		3																		3
計		3					7	6	7			6	39	1	7					76

- ツツガムシ病疑い患者3例(5検体)中2例(3検体)から、オリエンチア ツツガムシが検出された。
- 咽頭結膜熱患者9例中7例からアデノウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス1型が2例、アデノウイルス2型が3例、アデノウイルス3型が2例であった。
- 感染性胃腸炎患者7例中5例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳は、ノロウイルスが4例、ノロウイルス及びアデノウイルスの同時検出1例であった。
- 手足口病患者7例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA10型が1例、エンテロウイルス71型が6例であった。
- 流行性耳下腺炎患者9例中6例からムンプスウイルスが検出された。
- インフルエンザ様患者29例からインフルエンザウイルスが検出された。その内訳は、インフルエンザウイルスAH1pdm09が26例、インフルエンザウイルスAH3が3例であった。また、集団かぜ患者4集団17例中10例からインフルエンザウイルスが検出された。その内訳は、インフルエンザウイルスAH1pdm09が2集団10例中5例、インフルエンザウイルスAH3が1集団4例中2例、インフルエンザウイルスBが1集団3例であった。
- 流行性角結膜炎患者1例からアデノウイルス3型が検出された。
- 無菌性髄膜炎患者4例(12検体)中3例(7検体)からウイルスが検出された。その内訳は、1例目は咽頭ぬぐい液と便からライノウイルス、2例目は咽頭ぬぐい液からEBウイルス、3例目は髄液、咽頭ぬぐい液、便および血清からエンテロウイルス71型であった。

表 5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成 28 年 11 月～平成 29 年 11 月

	11 月	12 月	平成 28 年 累計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	平成 29 年 累計
インフルエンザ AH1pdm09	1	1	263	1	1	2		1	2		3	2		31	43
インフルエンザ AH3	39	93	196	164	98	35	9		2		2	2	10	5	327
インフルエンザ B		2	166	8	25	37	39	3	1				1	3	117
R S			2	2											2
コクサッキー A2			12								3		1		4
コクサッキー A4			29												
コクサッキー A5			5												
コクサッキー A6	8		34	6				4	19	44	17	7	3		100
コクサッキー A10			24							1	1	3	4	1	10
コクサッキー A16			5								2		1		3
コクサッキー B1		1	1												
コクサッキー B2												2			2
コクサッキー B3			6												
コクサッキー B5			17												
エコー 3	3		5										3		3
エコー 6		2	6	1								2			3
エコー 9	1	1	3									2	2		4
エコー 11			3												
エコー 18			4												
エンテロ 71			1								3	1	9	10	23
A型肝炎		1	2 (1)			1				1 (1)					2 (1)
E型肝炎					1										1
パレコ 3			21			3			1	2					6
ライノ			13	1		1		1	2			1		2	8
ムンプス	6		21	4	1		4	2	1	1	3	3	2	6	27
麻疹			8										3		3
アデノ 1			9	1		1					1			2	5
アデノ 2	1	2	16	1	2	2		3	2	2		1	1	3	17
アデノ 3	1		11			1		8	2	6	4		3	3	27
アデノ 4		1	8	1											1
アデノ 5		1	5												
アデノ 19			1												
アデノ 37			1							1					1
アデノ 41	1	2	6												
アデノ 46			1												
アデノ 54		1	5												
アデノ 64												1			1
アデノ(型未決定)							3	2		1	1			1	8
単純ヘルペス 1							1						1		2
水痘・帯状疱疹			1						1						1
E B			1						1	1				1	3
サイトメガロ			3					3				1	1		5
ヒトヘルペス 6		1	4					2	1		1	5			9
ヒトヘルペス 7			3					1	1		1	2	1		6
ロ タ	1	3	6	2	1	2	2	1							8
ノ ロ	68	79	374	16	6	11	30	6	2	6	5	19	6	5	112
サ ボ			1							1					1
アストロ			1				4	3							7
デング			3 (3)	1 (1)	1 (1)	3 (2)					2 (2)				7 (6)
オリエンチア ツツガムシ	1		1											3	3
合 計	131	191	1308 (4)	209 (1)	136 (1)	99 (2)	92	40	38	67 (1)	49 (2)	54	52	76	912 (7)

海外渡航者数は(内数)として記載

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 29 年 11 月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	11月			1~11月累計			11月				1~11月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数		94	44	81	1297	491		8		27	64	112	75	324
腸管出血性大腸菌 (EHEC)				1										
その他の大腸菌 ※2					1									3
サルモネラ 04群														
サルモネラ 07群														
サルモネラ 08群														
サルモネラ 09群														
腸炎ビブリオ														
カンピロバクター ジェジュニ														
カンピロバクター コリ														
カンピロバクター ジェジュニ/コリ														
黄色ブドウ球菌			1		1	10								
セレウス菌														
レジオネラ属菌									1			3		1
レジオネラ ニューモフィラ 1群												6		
レジオネラ ニューモフィラ 2群												2		
レジオネラ ニューモフィラ 3群														
レジオネラ ニューモフィラ 4群												3		
レジオネラ ニューモフィラ 5群														
レジオネラ ニューモフィラ 6群												6		
レジオネラ ニューモフィラ 7群														
レジオネラ ニューモフィラ 8群														
レジオネラ ニューモフィラ 9群														
レジオネラ ニューモフィラ 10群														
レジオネラ ニューモフィラ 11群														
レジオネラ ニューモフィラ 12群												1		
レジオネラ ニューモフィラ 13群														
レジオネラ ゴルマニイ														
レジオネラ ミクダデイ														
レジオネラ デュモフィー														
検出菌計			1	1	2	10			1			21		4

※：河川水を含む。

※2：EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）
プール水、エアコンの水等は、環境の「その他」に計上。

- 食品 その他検査 44 検体中 1 検体（手指のふきとり検体）から黄色ブドウ球菌が検出された。
- 環境 その他検査 27 検体中、1 検体（プール水）からレジオネラ属菌（レジオネラ ニューモフィラ）が検出された。血清群は不明であった。